

## 市民意向（アンケート調査結果等より）

本計画の策定とともに、今後のまちづくりの展開に向けて、市民のまちづくりに対する意識や考えなどを広く把握・反映することを目的として、実施した「新市まちづくり市民意向調査」及び「まちづくり懇談会」の結果の主な内容は、次のとおりです。

この市民意向調査は、平成17年8月に本市に居住する18歳以上の5,000人を無作為に抽出して実施し、回収率は76.5%、3,826人の回答を得ることができました。

また、まちづくり懇談会は平成17年9月及び平成17年12月に市内9地区（旧町単位）で実施し、市長を囲んで本計画の素案に対する様々な意見等や提案などを伺いました。

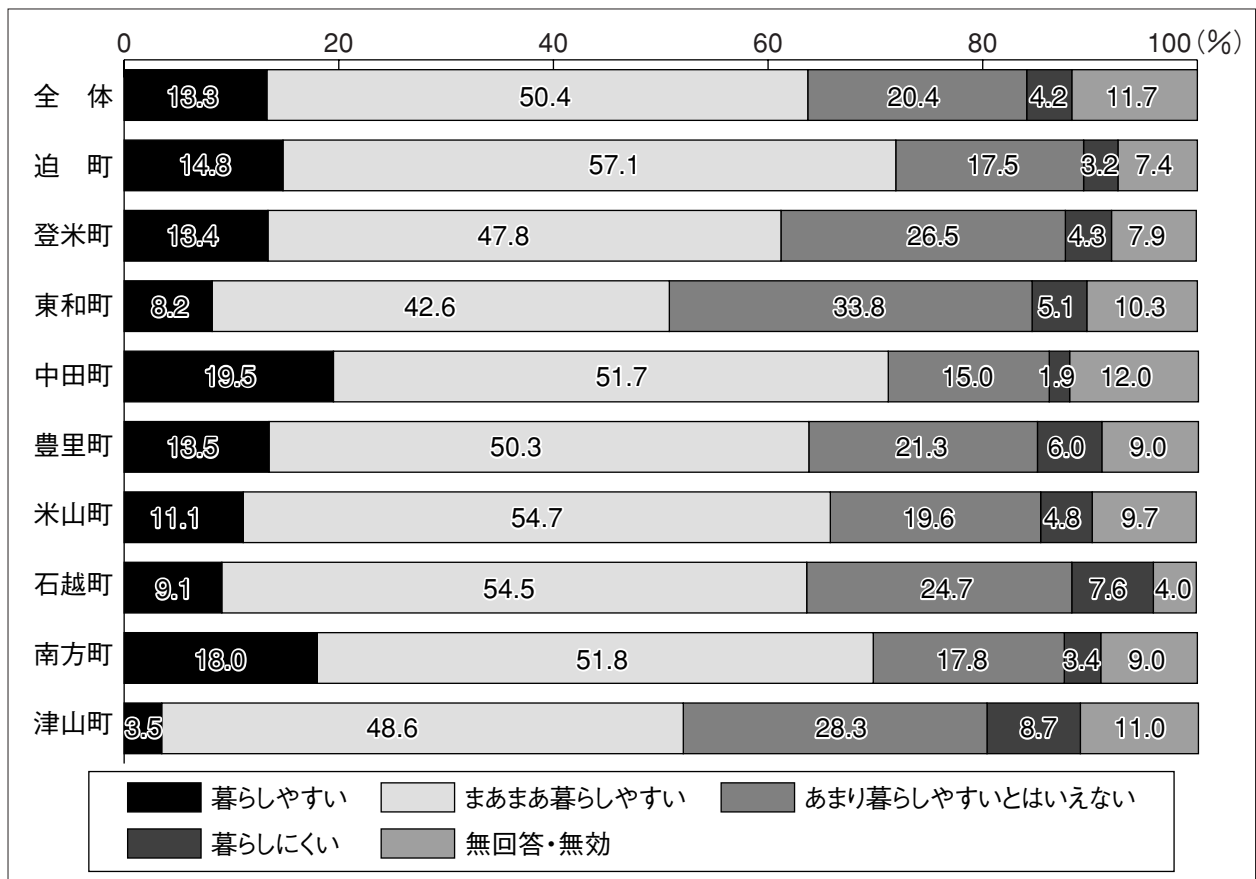
### 1 市民意向調査結果

#### (1) 登米市の暮らしやすさ

市民の暮らしやすさに関する意向調査では、「暮らしやすい」が510人（13%）、「まあまあ暮らしやすい」が1,930人（50%）と回答者の約63%が登米市を「暮らしやすい」と回答しています。

地区別にみると、各地区とも「まあまあ暮らしやすい」が最も多く、市街化が進んでいる迫町、中田町及び南方町では「比較的暮らしやすい」をあげている回答者の割合が他の地区に比べて高くなっています。

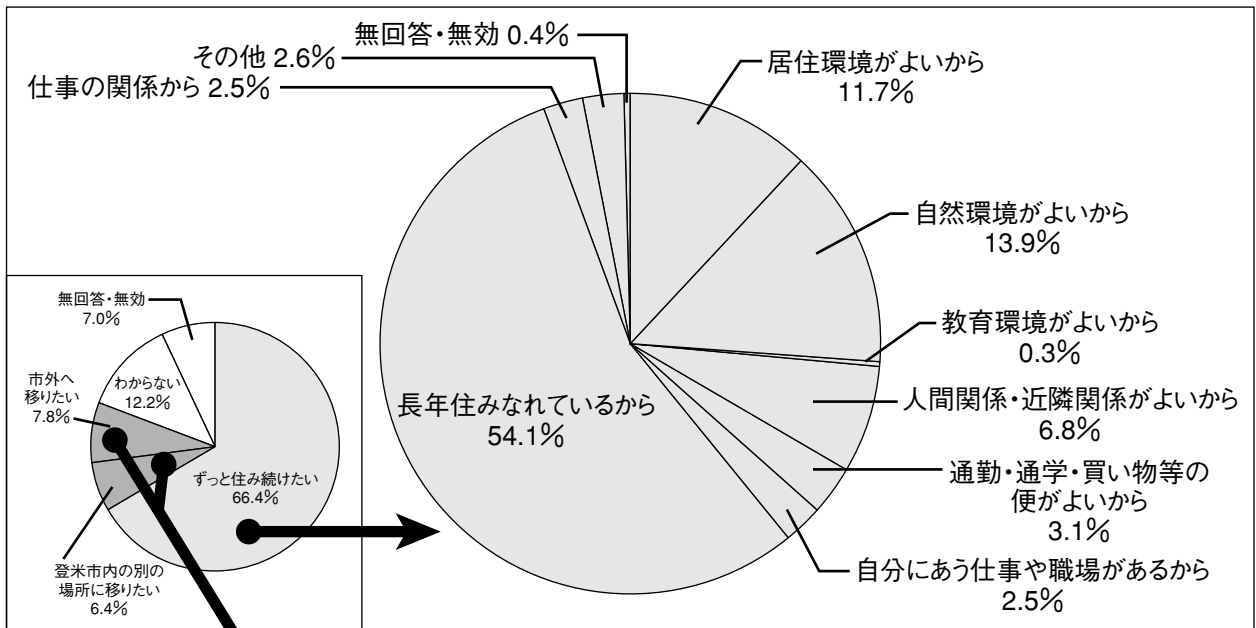
【地区別登米市の暮らしやすさ】



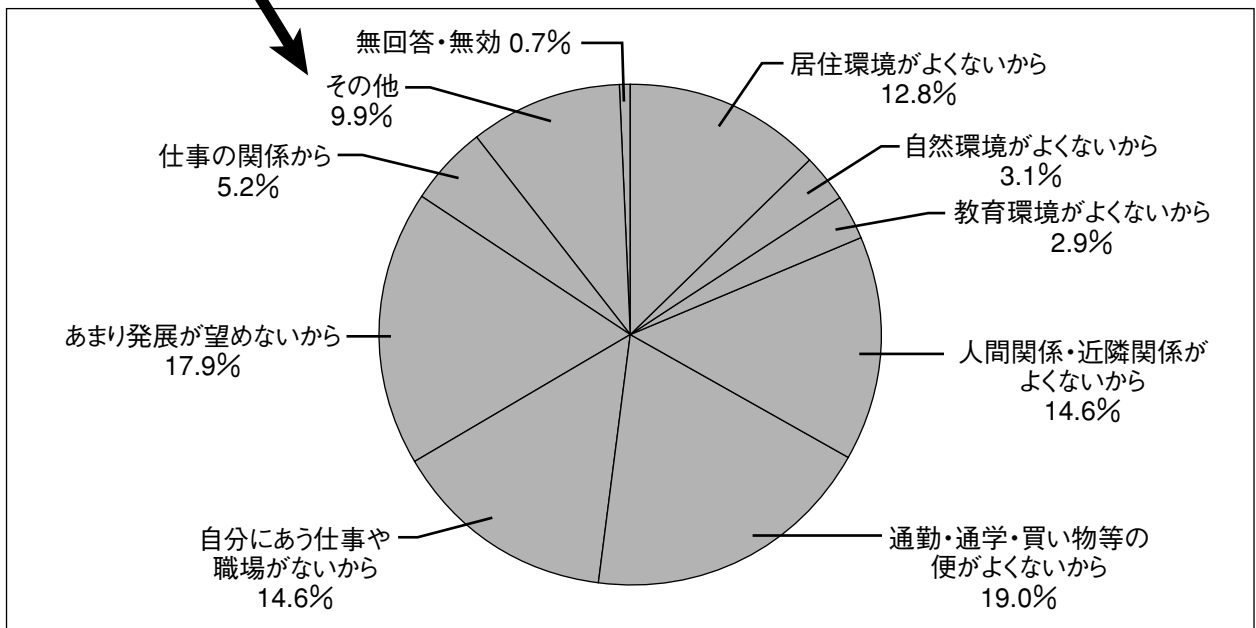
また、今後とも登米市にずっと住みたいと回答した方は、「長年住みなれているから」が1,374人（54％）と最も多く、これに「自然環境がよいから」の354人（14％）、「居住環境がよいから」の296人（12％）が続いています。

一方、市内の別な場所や市外へ移りたいと回答した方は、「通勤・通学・買い物等の便がよくないから」が105人（19％）で最も多く、これに「あまり発展が望めないから」の99人（18％）、「自分にあう仕事や職場がないから」の80人（14％）が続いています。

【登米市に住み続けたい理由】



【登米市から市内の他の地区や市外へ移りたい理由】



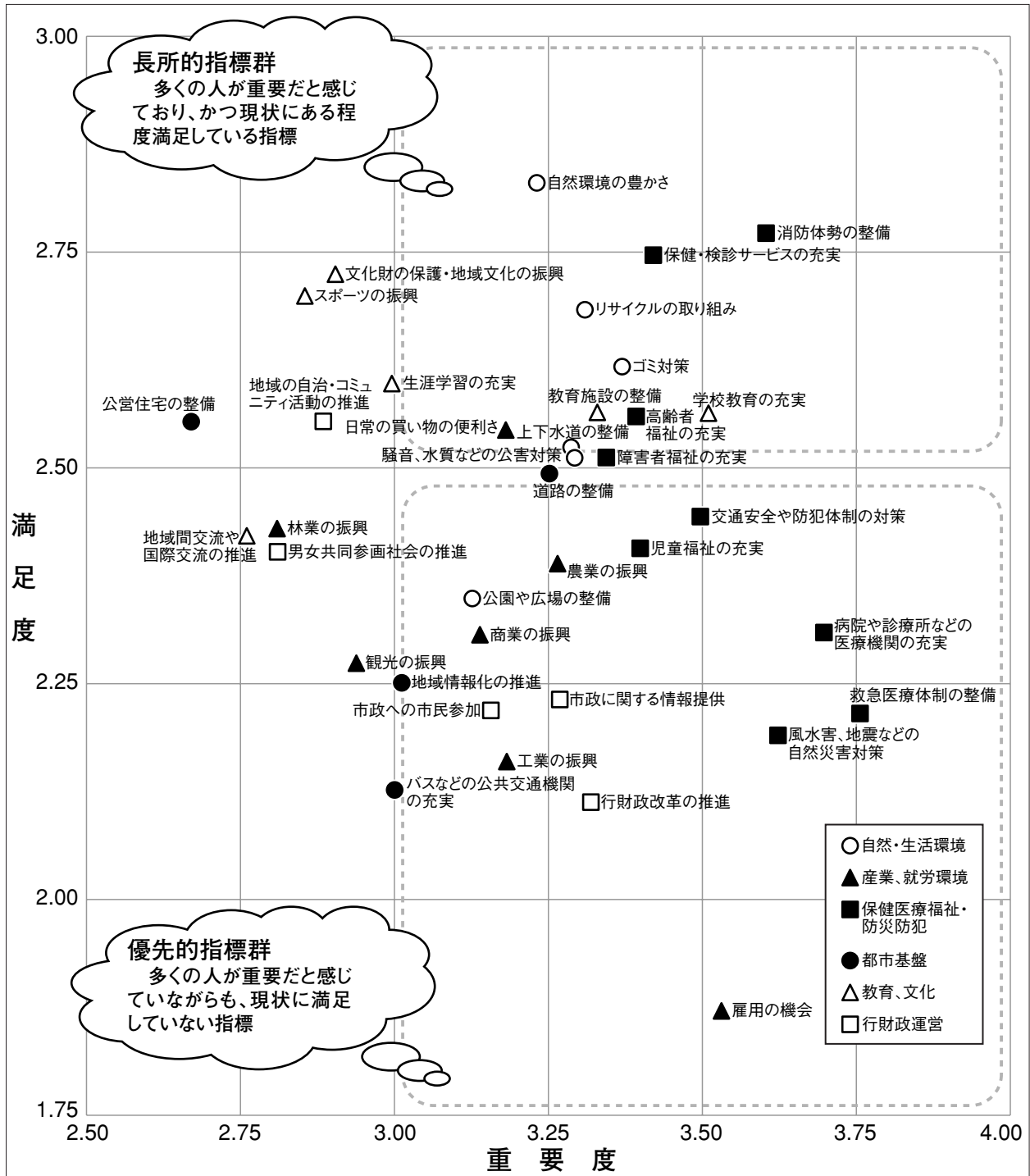
## (2) 生活環境の満足度・重要度

生活環境の満足度は、「自然環境の豊かさ」が最も高く、これに「消防体制の整備」、「保健・検診サービスの充実」が続いており、また質問した37指標のうち18指標の満足度が平均を上回っています。一方、満足度が最も低いのは「雇用の機会」で、これに次いで「行財政改革の推進」、「バスなどの公共交通機関の充実」となっています。

生活環境の重要度は、「救急医療体制の整備」が最も高く、これに「病院や診療所などの医療機関の充実」、「風水害、地震などの自然災害対策」、「消防体制の整備」が続いており、『保健・医療・福祉、防災・防犯』に係る指標が上位を占めており、一層の充実を図ることが求められています。

本市の長所的な特徴として、重要度及び満足度ともに高い指標をみると、『保健・医療・福祉、防災・防犯』や『自然環境、生活環境、循環型社会』に関する項目があげられています。一方、重要度が高いにも関わらず満足度が低い、本市の優先課題指標としては、『保健・医療・福祉、防災・防犯』や『産業・就労環境』に関する項目があげられています。

【生活環境の満足度・重要度】



※満足度－重要度散布図の見方

- 縦軸が満足度、横軸が重要度であり、それぞれ点数が高いほど満足度又は重要度が高いことを表す（4点が最高点、1点が最低点、2.5点が平均点）。
- 重要度が高く、満足度が低い指標（分布図の右下にある指標）は、生活上、多くの人が重要と感じていながらも、現状に満足していないもの、すなわち住民ニーズの高いもの（行政上の優先課題）とみることができる。

### (3) 登米市の将来イメージ

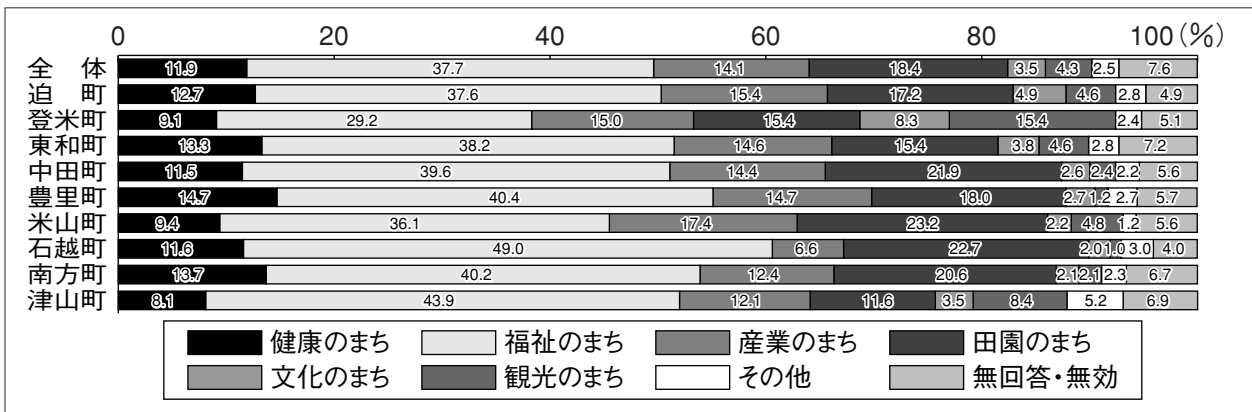
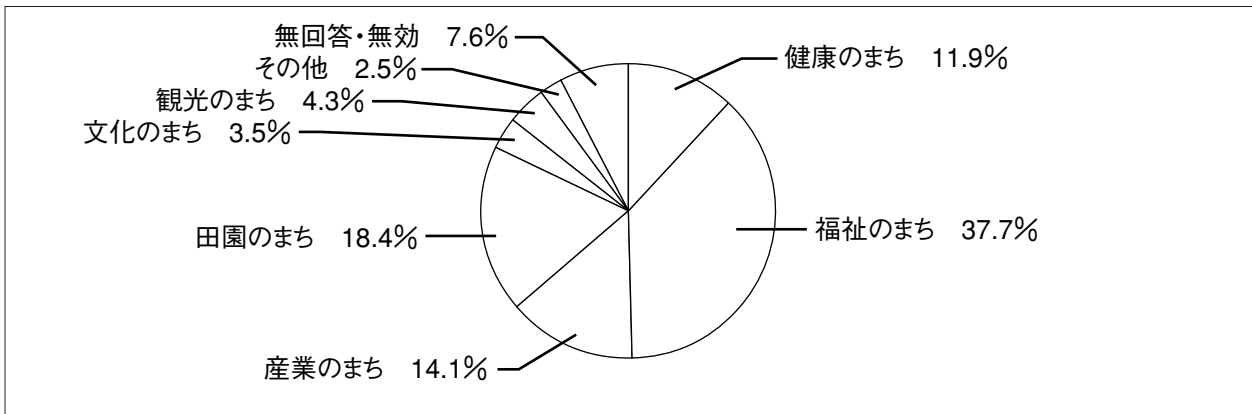
将来のまちづくりのイメージに関する選択肢を、以下の7項目で質問しました。

1. 健康のまち（保健施設等が整備されスポーツや健康づくり活動の盛んなまち）
2. 福祉のまち（子どもや高齢者などすべての人が住みやすい福祉のまち）
3. 産業のまち（工業・商業の集積により産業拠点となるまち）
4. 田園のまち（田園風景が保全され緑豊かなまち）
5. 文化のまち（文化施設が整備され文化活動の盛んなまち）
6. 観光のまち（地域資源を生かした観光のまち）
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

その結果、市民が考える本市の将来イメージは、「福祉のまち」が1,443人（38%）で最も多く、これに「田園のまち」の705人（18%）、「産業のまち」の538人（14%）が続いています。

地区別にみると各地区ともに「福祉のまち」及び「田園のまち」が多くあげられています。歴史的建築物が数多く残されている登米町では「観光のまち」をあげている回答者の割合が高く、福祉の充実や自然環境の保全を図るとともに、地域の特性を生かしたまちづくりが求められています。

【登米市の将来イメージ】



## 2 市民意見のまとめ

市民の暮らしやすさは、全体の約63%が暮らしやすいと回答しており、特に市街化が進んでいる迫町、中田町及び南方町で満足度が高くなっています。しかし、市内の他地区や市外へ移りたい理由としてあげられた「通勤・通学・買い物の便が良くないから」、「あまり発展が望めないから」、「自分に合う仕事や職場がないから」など、主に産業面、雇用面での活性化が今後の課題と考えられます。

本市の長所的な特徴は、「自然環境の豊かさ」、「消防体制整備の満足」、「保健・検診サービスの充実」、「リサイクルの取組やゴミ対策」など、本市が本来有している自然や、本市に居住している市民の生命や財産を守る取組があげられています。一方、短所的な特徴は、「雇用の機会」、「行財政改革の推進」、「公共交通機関の充実」、「自然災害対策」など、当面の課題として早期に取り組むべきことがあげられています。

登米市の将来イメージは、「福祉のまち」、「田園のまち」という市民の方々が多くイメージされており、これらのイメージを生かしたまちづくりを展開することが求められているものと考えられます。

今後のまちづくりにおいて特に求められていることは、本市の長所的指標を生かすとともに、短所的な課題としてあげられていることに、効果的・効率的に対応していくことが必要です。

このため、優れた自然の保全や農林業の活性化及び保健・福祉・医療の充実を一層推進するとともに、就業の場となる企業誘致や暮らしやすさを高める機能強化（中心市街地の活性化）などを進め、若者の定住できる環境の整備が重要と考えられます。

### 3 まちづくり懇談会の開催結果

「まちづくり懇談会」は、第1回の開催を平成17年9月1日から9月14日にかけて開催し、第2回の開催を12月23日から12月24日にそれぞれ旧町単位の9会場で開催しました。

第1回開催時の市民の皆さんの参加数は、延べ457人、第2回開催時は延べ271人の参加をいただき、様々な意見等や提案が出されました。

#### 【まちづくり懇談会で出された意見等や提案の概要】

項目	意見等や提案の概要
市民参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まちづくりは市民が主役であり、市民と共有できるまちづくりを進めて欲しい。</li> <li>●登米町の秋祭りをみて地域のエネルギーを感じて欲しい。</li> <li>●地域防災組織など地域コミュニティを生かした組織づくりを支援して欲しい。</li> <li>●みんなが分かる市のキャッチフレーズを決めれば活性化につながると思う。</li> </ul>
自然環境について	<ul style="list-style-type: none"> <li>●美しい自然、潤いある水辺空間を守り、後生に残して欲しい。</li> <li>●自然エネルギーを活用した特区、津山町の木質バイオマス等を考えてはどうか。</li> <li>●グリーンセンターの土・日曜日のどちらかの運営を実施して欲しい。</li> </ul>
産業振興について	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市の活力を維持・向上させ、若者の定住を促すため働く場所を確保して欲しい。</li> <li>●農業は基幹産業であり、農業が元気でなければ登米市も元気にならないと思う。</li> <li>●グリーンツーリズムなど農・商・工・観光が連携した施策を推進して欲しい。</li> <li>●商工業の活性化に向けた支援や積極的な企業誘致を推進して欲しい。</li> <li>●全国から来る観光客のために道路などの案内表示等を充実して欲しい。</li> <li>●集落営農に対する零細農家への取組支援をお願いします。</li> <li>●国の農林振興基金を活用した和牛団地を検討して欲しい。</li> </ul>
保健・医療等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>●脳の病気に対応できる医療施設など不足している診療科目や救急医療を充実して欲しい。</li> <li>●高齢者、障害者などが安心して暮らせる公的施設等を整備して欲しい。</li> <li>●子どもが安心して遊べる環境づくりや子育て支援を充実して欲しい。</li> <li>●消防・防犯機能の強化、充実を進めて欲しい。</li> </ul>
まちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まちへの愛着を高めるよう市街地の整備などまちの美化が必要ではないか。</li> <li>●超高齢社会に対応した、高齢者にやさしいまちづくりを進めて欲しい。</li> <li>●河川の改修、森林の保全、市街地の整備など防災対策を強化して欲しい。</li> <li>●下水道などの日常生活に欠かせない生活基盤施設を早期に整備して欲しい。</li> </ul>
交通環境について	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登米ICなどの広域的な道路へ接続する道路の整備を進めて欲しい。</li> <li>●主要な駅の利便性をもっと向上させて欲しい。</li> <li>●過疎地を重点とした市民バスや通学バスなどの公共交通を充実して欲しい。</li> </ul>

<p>教育・生涯学習 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学力の向上と個性ある学校教育により、健やかな子どもたちを育てて欲しい。</li> <li>● 専門学校あるいは大学などの高等教育機関を誘致してはどうか。</li> <li>● 幼稚園と保育園の一元化、小中一貫特区など地域特性に合う教育をして欲しい。</li> <li>● 地域スポーツクラブなど身近にスポーツに接する機会をつくって欲しい。</li> <li>● 児童・生徒の安全対策を推進して欲しい。</li> <li>● 文化活動の継承について行政からも支援して欲しい。</li> </ul>
<p>行財政の運営 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各集落、各地区それぞれの視点で特色を生かした取組をして欲しい。</li> <li>● 国の基準にこだわらず、施設運営や施策の展開は民間の発想で行って欲しい。</li> <li>● 支所に権限を与え、やれるものはすぐやって欲しい。</li> <li>● アスベスト対策、耐震診断など公共施設の安全性の向上を図って欲しい。</li> <li>● 市職員の意識改革と適材適所の人員配置による市政運営をして欲しい。</li> <li>● 適正な指定管理制度を活用してもらいたい。</li> </ul>